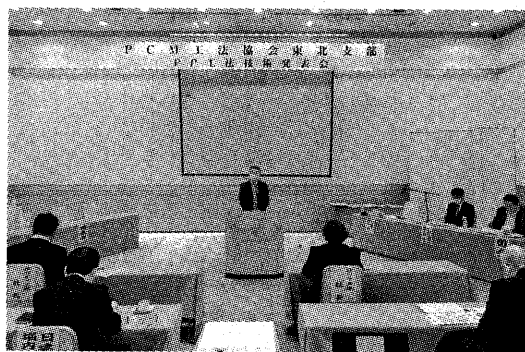


2021年(令和3年)6月23日(水曜日)

PCM工法協会 会員8現場の 取り組みを共有 PP工法技術発表会

PCM工法協会東北支部(伝野得男支部長)は、仙台市の秋保リゾートホテルクレセントでPP工法技術発表会とPCM工法協会優秀表彰式を開いた。今回はコロナ禍での開催となり会場規模に合わせて人数制限を行い45人が参加



した。開会に先立ち、伝野支部長(日建工業取締役業務部長)は「東北支部は、全国で初めて認可された支部組織だ。東日本大震災の被災3県は、復興需要から国土強靱化に伴うインフラ整備事業に移行している。この流れの中、河積阻害が

問題視される橋脚の耐震補強では、PP工法が主流となっている」と強調。「地球温暖化に伴い、悪天候が多くなっている。この環境変化に対応するために技術発表会を開催した」と今回の主旨を説明した。

PP工法は、建築限界や河積阻害など施工が制約される場所で真価が発揮される増厚工法で、橋脚や水門の補強など、さまざまな制約条件下での耐震補強工法として多くの実績を残している。発表会では、東北各県8現場を紹介し、冬期間で工夫した点などを説明。PP工法の優位点として▽車両プラントを使用したこと

で、水害被害が最小限に抑えられる▽土木用杭足場1800ミリを使用したこと、養生が早く作業効率が上がったことなどを紹介した。今後は2000ミリの足場使用予定やプラント車4ノッカーテン式屋根車を製作中であることなども説明され、参加者は注意深く聞いていた。

また、20年度に実施した工事のうち優れた品質で施工した企業や個人などをたたえるPCM工法協会優秀表彰式では、市道米沢駅東線八幡原大橋下部工耐震補強(その1・その2)を施工したリックス(山形県東村山市)が、PCM工法協会賞を受賞した。このほかの受賞者は次の通り(工事名、企業名、技

術者名。敬称略)。

◎PCM工法東北支部賞

▽桜岡橋橋梁耐震補強Ⅱ日建工業(仙台市)、阿部稔氏▽同Ⅰガイア工業(宮城県石巻市)、松崎哲也氏

◎日建工業賞

▽錦橋橋梁耐震補強Ⅱリックス(東村山市)、安食亮人氏

◎リックス賞

▽ガイア工業(石巻市)、菊池彰氏、

◎リックス安全協議会賞

東日本躯体エンジニアリング(仙台市)

◎前田工織賞

▽リックス(東村山市)、稲葉真理▽北商物産東北支店(仙台市)、本間さとみ▽前田工織仙台支店(同)、岩崎浩美